

下関での創業 どうですか？

商産業振興課(☎231-1265)

「自分のお店を持ちたい」「こんな事業をしてみたい」

未来の創業者のために、実際に下関で創業した方の声を紹介します。

創業してみて感じた、やりがい、苦労、そして熱い想いに、少しだけ、触れてみてください。

小麦粉の代わりに米粉を使った、グルテンフリーの食品を製造販売。現在、唐戸に工房を構え、クラウドファンディングで応援して下さった方に、米粉パンを届けている。



KOMEKO88

原田陽子さん

創業しようと思ったきっかけは？

夫がアレルギー体質で、小麦粉を摂取すると体調を崩すんです。おいしいパンやパスタを食べたくても食べられない人がいる。下関にもグルテンフリーのお店があればと思うようになりました。

一番困ったのは？

申請などの手続きです。本当に分からないことだらけで。税金のこともそうですし、何の申請が必要なのか、何の準備をしたらよいのか、そしてお金をどう工面すればよいのか、全部調べました。

始めの第一歩は？

まずはインターネットやSNSで情報収集しましたね。家族や友人にも相談して、ふるさと起業家支援補助金を知りました。クラウドファンディングに挑戦することになり、すぐにお店のSNSを準備。コンセプトに賛同して下さった方ともつながれて、とても応援していただきました。初期費用を抑えたこともあり、開業資金はすべて補助金の中で賄うことができました。

これから目指すものは？

みんなが好きな食べ物を食べられるように、お店を続けていきたいです。一人だと心が折れるので、これから創業をする方は、夫婦でも仲間でも、相談できる方と一緒に始めるのがよいと思います。



大好きな地元長府を元気にしたい。昨年8月、長府中浜市場の一角にお店をオープンした吉谷さん。街に活気をもたらす存在として、空き店舗を利用したイベントを開催。



The Little Coffee Stand

吉谷悠莉さん

創業して良かったことは？

自分のやりたいことを自由に表現できることは楽しいです。小学校の頃、地域の祭りなど商店街にも活気があって、楽しかった思い出が残っています。大好きな長府の街に関われるのも、創業して良かったことです。

始めの第一歩は？

何から始めたらよいか分からず、まず、創業支援カフェKARASTAに行きました。

「こんなお店をしたくて」と相談すると、「月にこれくらい売り上げを出したら経営が成り立つよ」と、具体的に数字を出して下さり、収支や経営のことを学ぶことができました。アドバイスを元に事業計画を作成。また、KARASTA.で相談する中で、空き物件活用ビジネス支援事業補助金のことも教えてもらい、産業振興課に申請して、活用させていただきました。

これから目指すものは？

長府の街を活性化させたいです。市場の総会で、「集客につながる」「次世代の人に来てもらえる」

ようなことができないかという話になり、市場の空き店舗を利用したマルシェを企画。普段来ない方が市場を訪れてくれたり、中にはリピートして下さる方も。少しずつ常連さんが増えているのを実感しています。



下関市の創業支援メニュー

●創業支援カフェKARASTA.(カラスト)

専門家による創業・起業に関する相談窓口です。学生や社会人、起業家の交流の場でもあり、ワークショップやセミナーも開催しています。

☎平日10時～18時 ㊟土・日曜日、祝日、年末年始

●ふるさと起業家支援補助金

クラウドファンディング型のふるさと納税を財源とした補助金を交付する制度です。

㊟地域資源の活用や、地域課題の解決のための事業を市内で行う起業家など

㊟上限額＝500万円

●空き物件活用ビジネス支援事業補助金

空き物件で、小売・飲食・サービス業を開店予定の方に、家賃や店舗改装費等を補助する制度です。

空き物件を解消し、円滑な事業展開を支援します。

㊟空き店舗や空き家を賃借、所有または管理し、自ら事業を行おうとする方

㊟▷家賃補助＝3ヶ月分の支払い家賃の3分の1以下、上限額20万円

▷店舗改装費＝対象経費の2分の1以下、上限額100万円



前田市長を表敬訪問

前田市長から激励のメッセージ

皆さん、いろいろな人に助けられながら日々活動しているのではないかと思います。

私が20年間まちづくりに参加して感じることは、人の縁をいかにつくっていくかが大事であるということ。下関市民はとても優しいですから。味方になると、苦しい時に助けてくれる人がたくさんいますよ。

オーナーになるのは大変で、勇気もいることです。でも、自分で決められるという楽しさを生きがいに変えて頑張ってほしい。若い皆さんが、自分の手で事業を進めていくことを、市としても、しっかりと応援していきたいと思っています。

- 第7期スタートアップ実践塾【夏期日程】
- 創業・マーケティングの基礎から、事業計画、収支計画の作り方まで、丁寧に説明します。
- ㊟市内で創業を希望する方（事業経験不問）
- ㊟8月19・26日、9月2・16日 10時30分～12時
- ㊟KARASTA. かオンライン（Zoom）
- ㊟電話かQRコードから。
- ㊟圃創業支援カフェKARASTA.（☎227-4747）



発達障害のある人が気軽に集まれる場所があれば。公認心理師とタッグを組み発達障害当事者として5月に始めたCafe&Bar。茶山通りに、「居場所」と「癒やし」を提供する。

あいまいな境界 竹内珠恵さん

創業しようと思ったきっかけは？

発達障害のある子の親として、親の会を立ち上げたのですが、どうも他の親と話が合わなくて。私自身にも発達障害があることが分かり、発達障害の悩みを分かち合える場所があったらいいと思うようになりました。

最初の第一歩は？

創業支援カフェKARASTA.で、ふるさと起業家支援補助金に応募してみませんかと提案されたことが始まりです。KARASTA.で出会った公認心理師の長門宗蔵さんと一緒に、資料を作って応募したらなんと合格。進むしかなくなりました。

一番困ったのは？

お金です。自己資金が不安だったこともそうですが、私は見通しを立てることが苦手で、自分の力だけではうまく経営できません。長門さんにもKARASTA.にも助けていただいています。

創業して良かったことは？

お店に来てくれた方に「帰りたくない」と言ってもらえたときは、うれしかったですね。届けたい人に自分の想いが届いたんだと実感できました。開店して初めて分かった大変さもありますが、お客さんが優しく助けてられています。私にとっても「癒やしの場所」です。

